

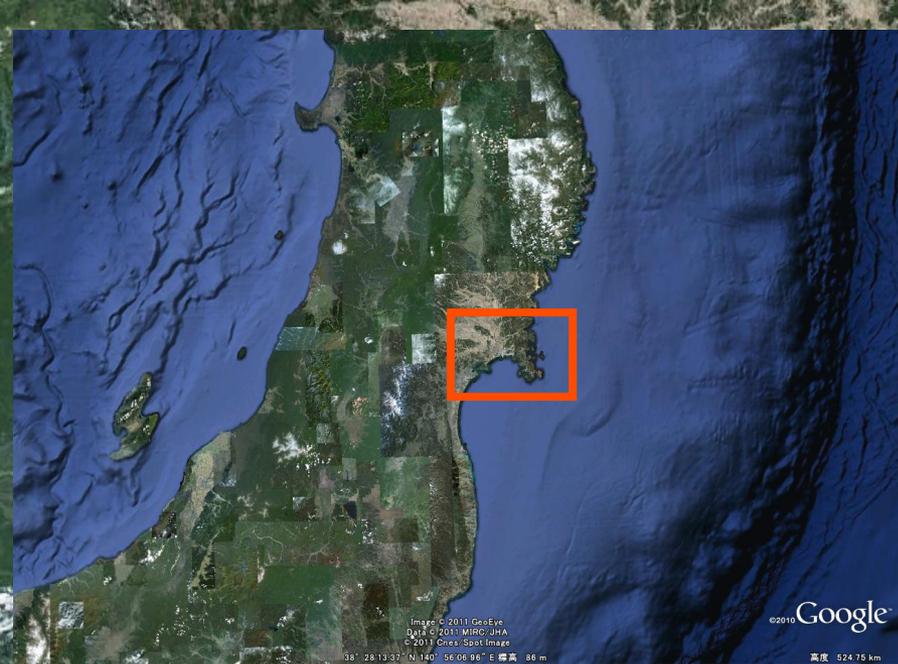
石巻市北上町での住民主体の震災復興の試み

To reestablish new lives, with local inhabitants of Kitakami Area.

今野照夫 KONNO Teruo

佐藤尚美 SATOU Naomi

手島浩之 TESHIMA Hiroyuki



南三陸町

Kitakami Area.

北上町十三浜



雄勝

石巻旧市街

牡鹿



Image © 2011 DigitalGlobe
Data © 2011 MIRC/JHA
© 2011 Cnes/Spot Image

©2010 Google



自然地形に沿った段々造成

Terracing ground stages due to the site inclination

→自然地形を活かした景観保全
Reserving the natural scenery

→工期短縮・工事費削減 (搬出土量が減少するため)
Then construction terms to be shortened,
less construction costs

住民、自治体、建築家のそれぞれの目指す目標が 矛盾しないことが確認できた

These targets will not be against each other
among displaced, public officers, and architects.



小室集落 高台移転計画案

2012年2月頃「復興事業に地域の意思を反映させ、
地域自らが将来を考える仕組みづくり」への取り組みを始める。

石巻市広域合併時に制定された

「石巻市地域まちづくり委員会設置条例」に基づく

「北上まちづくり委員会」



北上まちづくり委員会

市長へ提案、答申

北上地域まちづくり委員会

運営委員

サポート

北上総合支所

北上復興応援隊

JIA

コミュニティ地区
分科会

川浜・長塩谷・立神地区
分科会

コミュニティ施設分科会
相川地域

子ども環境を考える
分科会

にこにこり中央を考える

地区別分科会

分野別分科会

北上まちづくり委員会

石巻市北上町 復興の取り組み

北上まちづくり委員会と分科会で練られた、
新しい北上の中心地計画案について



新古里（にっこり）団地

Image © 2014 DigitalGlobe
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO

Google ea

にっこり団地についての説明



An aerial photograph of a school complex. A large, multi-story building with a grid-like facade is highlighted with a red rectangular box. The surrounding area includes various smaller buildings, green spaces, and a road network. The text is overlaid on the top left of the image.

被災3校が統合された「北上小学校」

総合支所、警察署、消防署、保育所など
北上の中心部を構成する機能

自力再建住宅
災害公営住宅



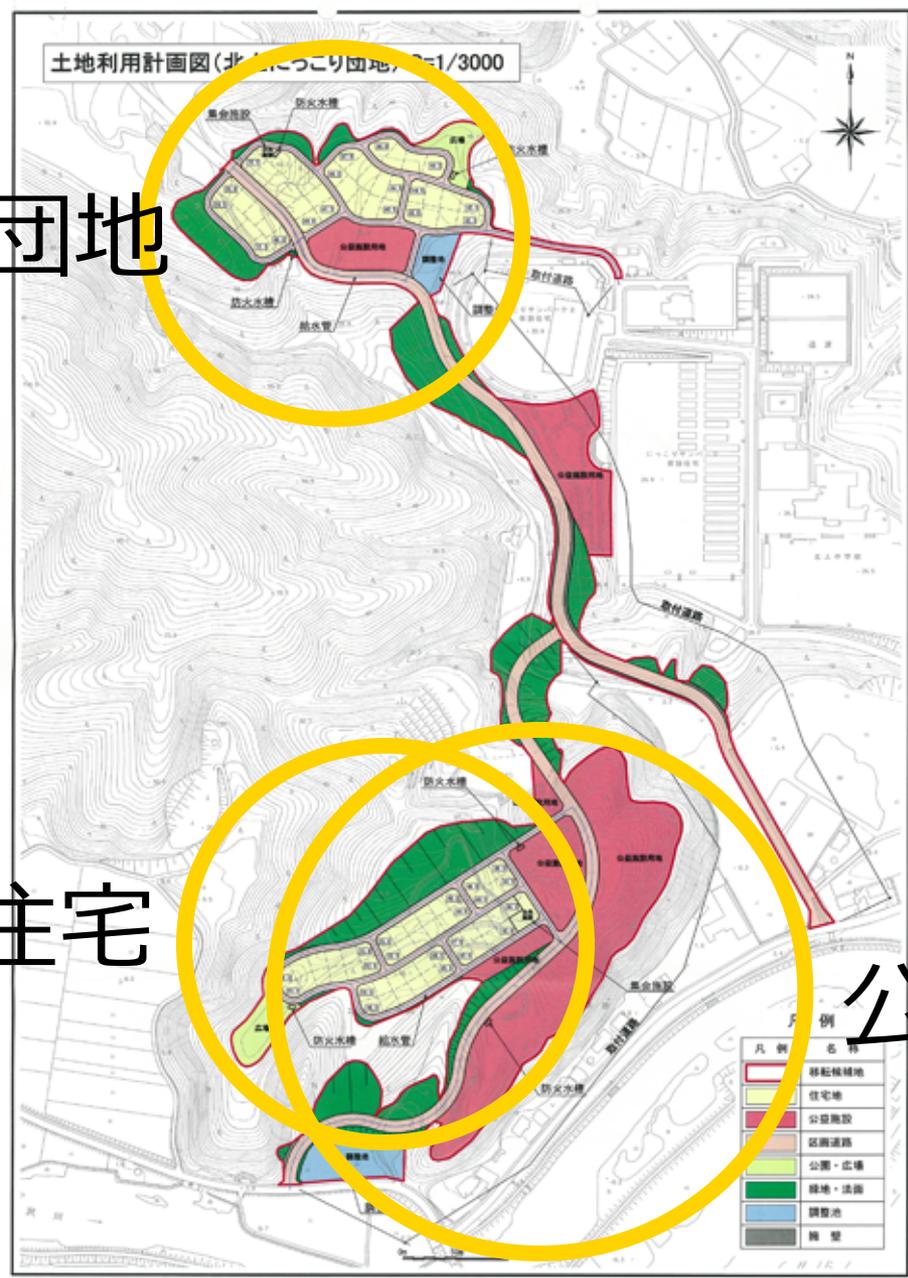
にっこり北住民有志の会

土地利用計画図(北上たつこり団地) 1/3000

自力再建団地

災害公営住宅

公共施設用地



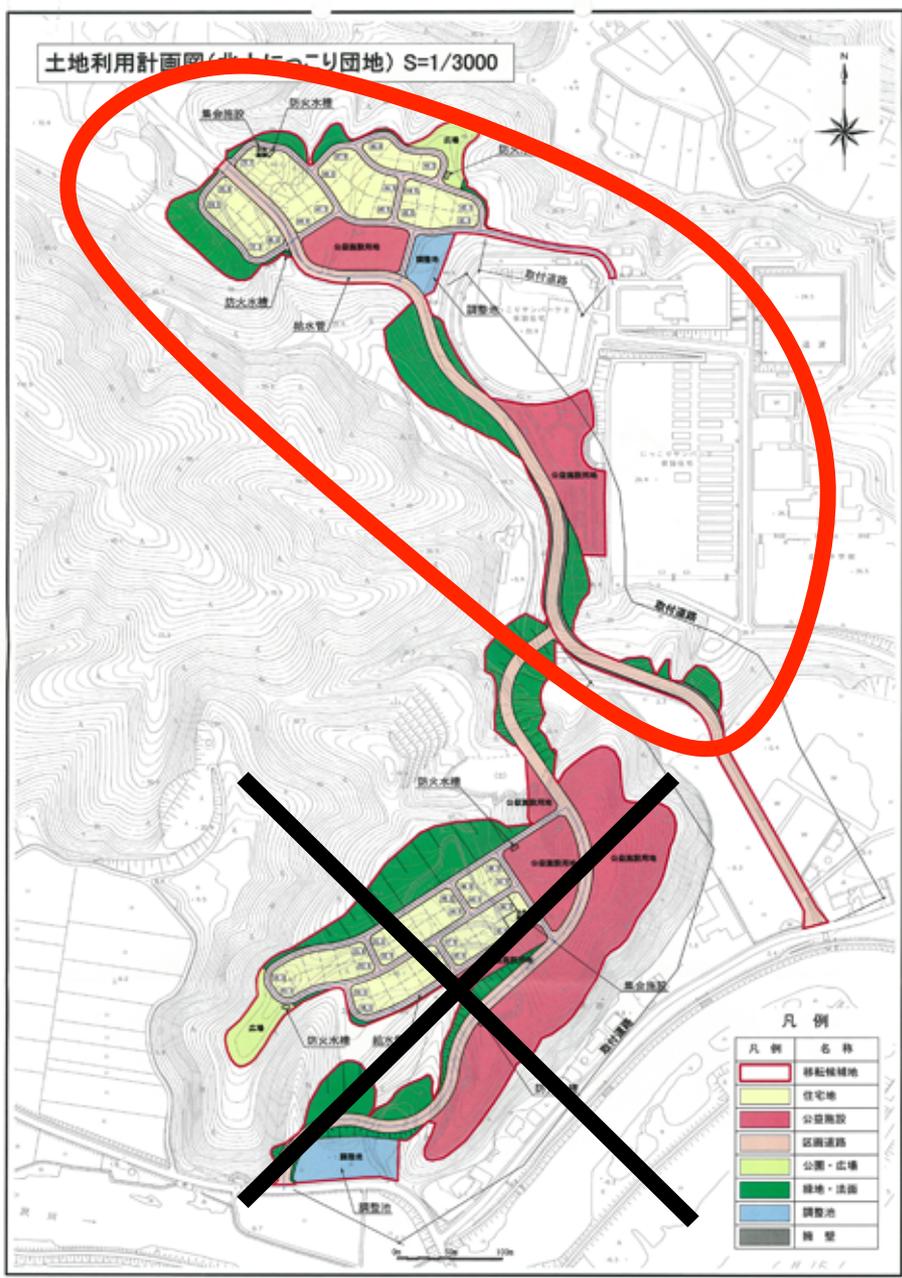


にっこり北住宅団地住民有志の会

2013年3月10日 第1回住民WS



**2013年7月頃
全体計画の大規模な計画変更**



にっこり団地計画案 見直し時のコンセプト

大きなテーマ：

「北上地区の豊かな自然を残し、
自然と調和のとれたまち」

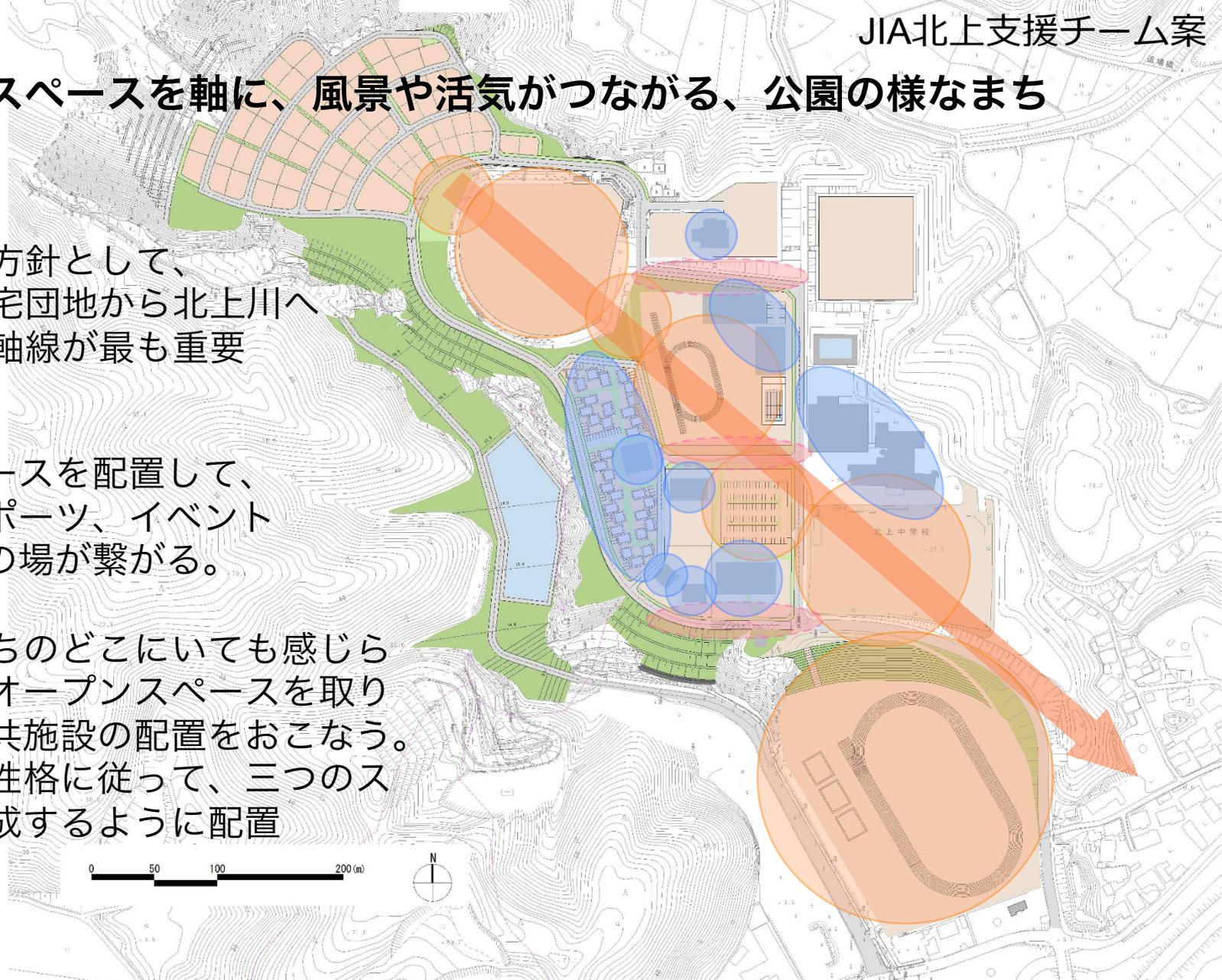
- ・北上らしい特徴のある、持続できるまち
- ・北上川、追波湾との一体感が重要
- ・コンパクトにまとまったまちづくり
- ・既存スポーツ施設を活かした、
活気ある、生き活きとしたまちづくり

オープンスペースを軸に、風景や活気がつながる、公園の様なまち

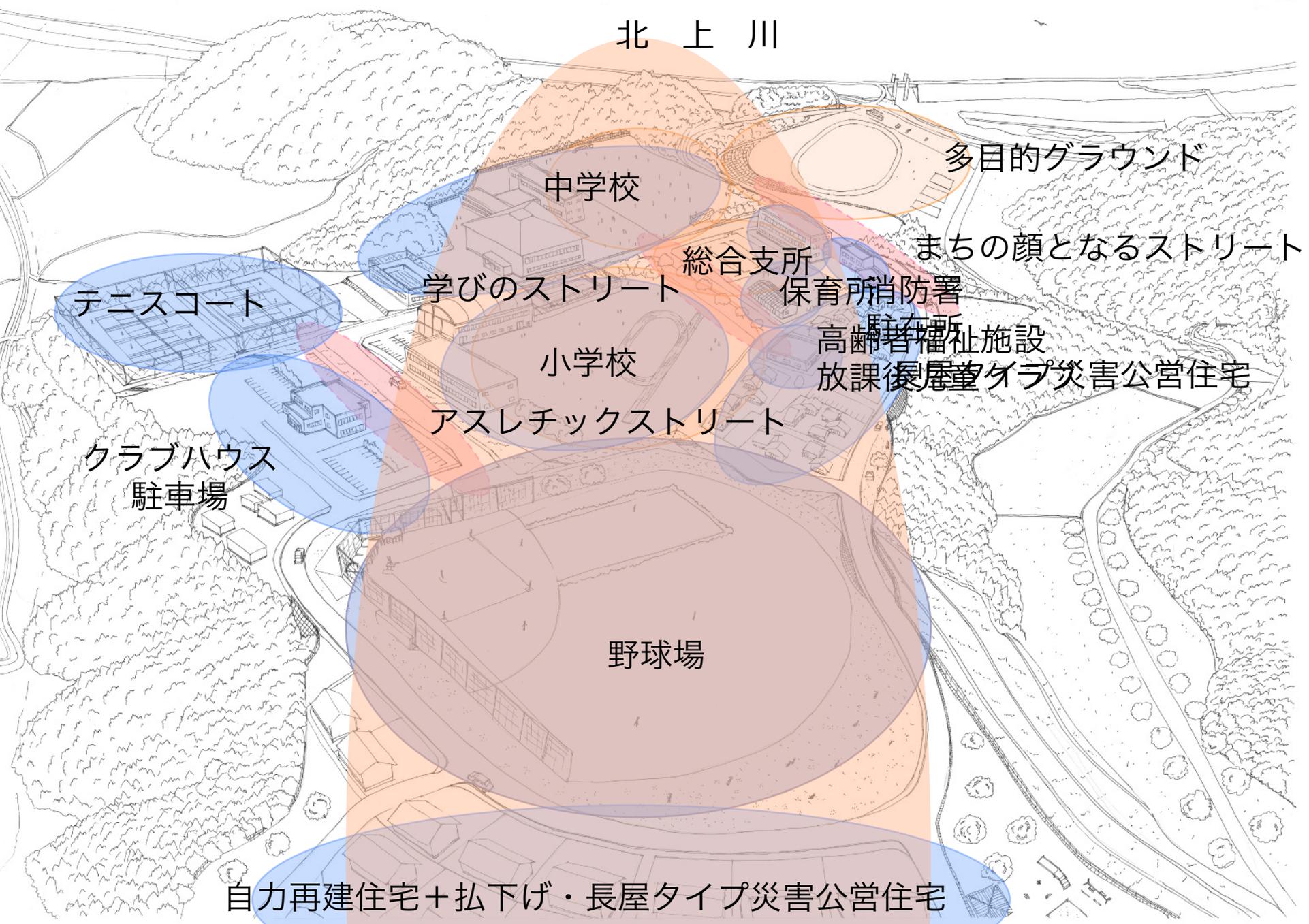
まず、大きな方針として、
にっこり北住宅団地から北上川へ
向かう視線・軸線が最も重要

その軸線上に、
オープンスペースを配置して、
子供たちやスポーツ、イベント
などの賑わいの場が繋がる。

にぎわいがまちのどこにいても感じら
れるように、オープンスペースを取り
囲むような公共施設の配置をおこなう。
公共施設は、性格に従って、三つのス
トリートを構成するように配置



北上川



中学校

多目的グラウンド

テニスコート

学びのストリート

総合支所

まちな顔となるストリート

保育所

消防署

小学校

駐在所
高齢者福祉施設
放課後児童クラブ
災害公営住宅

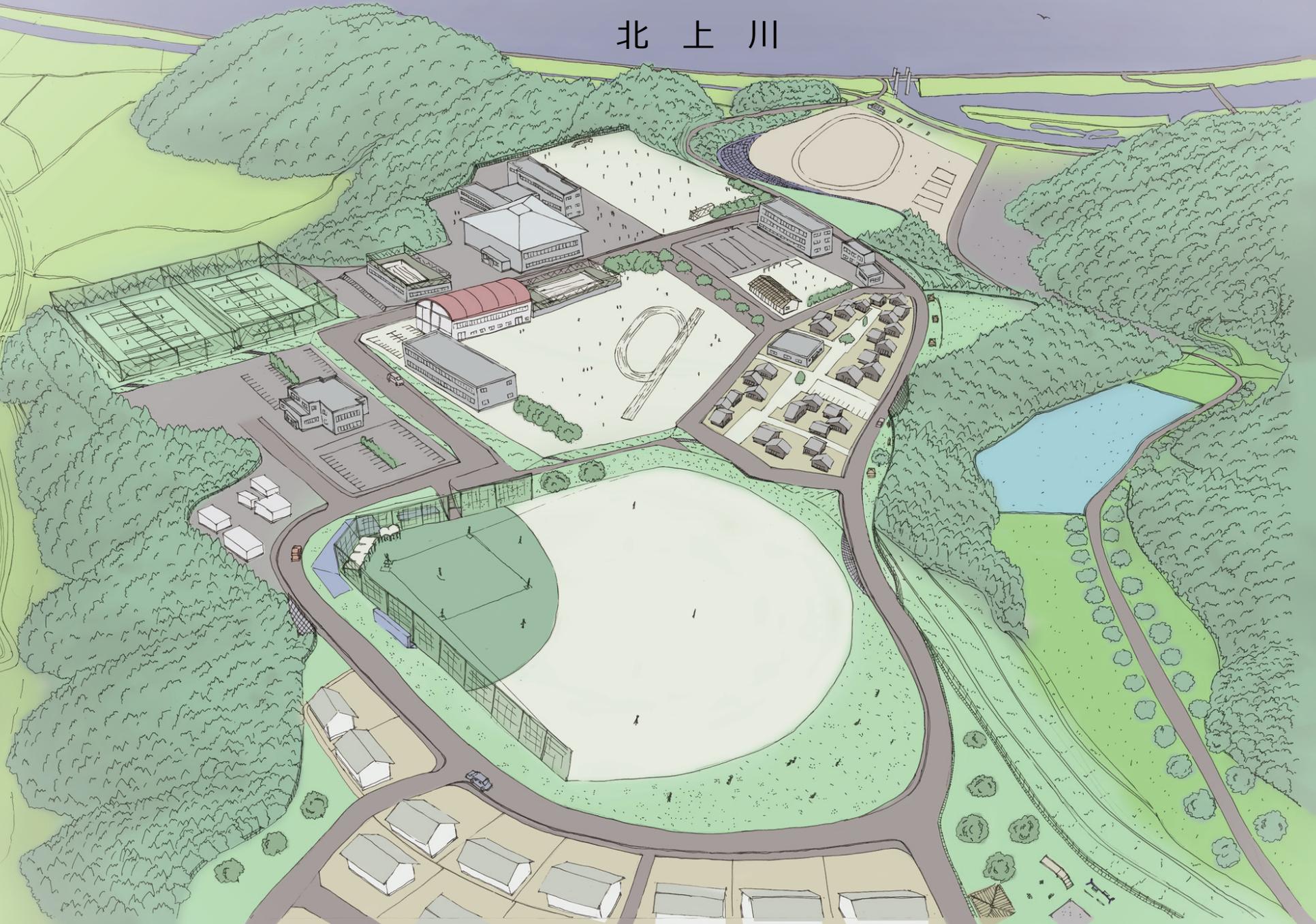
アスレチックストリート

クラブハウス
駐車場

野球場

自力再建住宅+払下げ・長屋タイプ災害公営住宅

北上川





入居希望者対象

ヒアリング調査



災害公営住宅部分の詳細な
情報を拾い上げる必要



災害公営住宅の必要面積の確定



にっこり団地全体計画の確定

JIA北上支援チーム案

にっこり団地 災害公営住宅計画

石巻市半島部災害公営住宅基本方針



払下げを前提とした戸建住宅

北上の状況

- ・ にっこり団地には用地が不足
北上では、制度説明と個別ヒアリングを徹底したため、
- ・ 北上の災害公営住宅入居希望者は、
高齢者が多く、広い敷地はいらぬとの声



見守り重視タイプ（長屋型住宅）



にっこり団地の復興公営住宅説明会＋個別ヒアリング

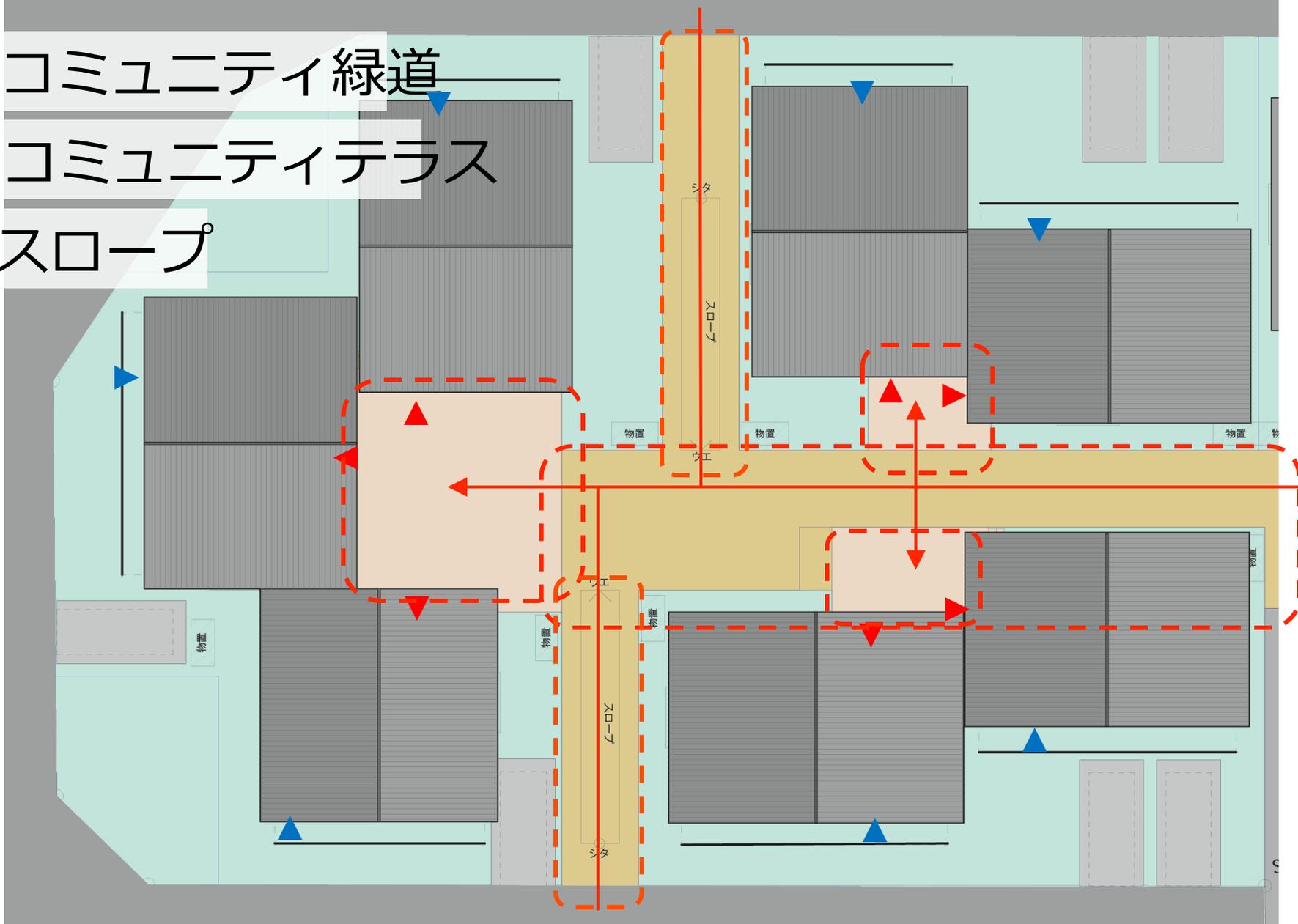
10月11日 入居希望者向け説明会

岩沼市などの先進事例を紹介しつつ、
長屋タイプなどを説明

10月28日29日 （追加 12月12日16日）

入居希望者へのヒアリング調査

コミュニティ緑道
コミュニティテラス
スロープ



にっこり団地 災害公営住宅計画

にっこり地区災害公営住宅

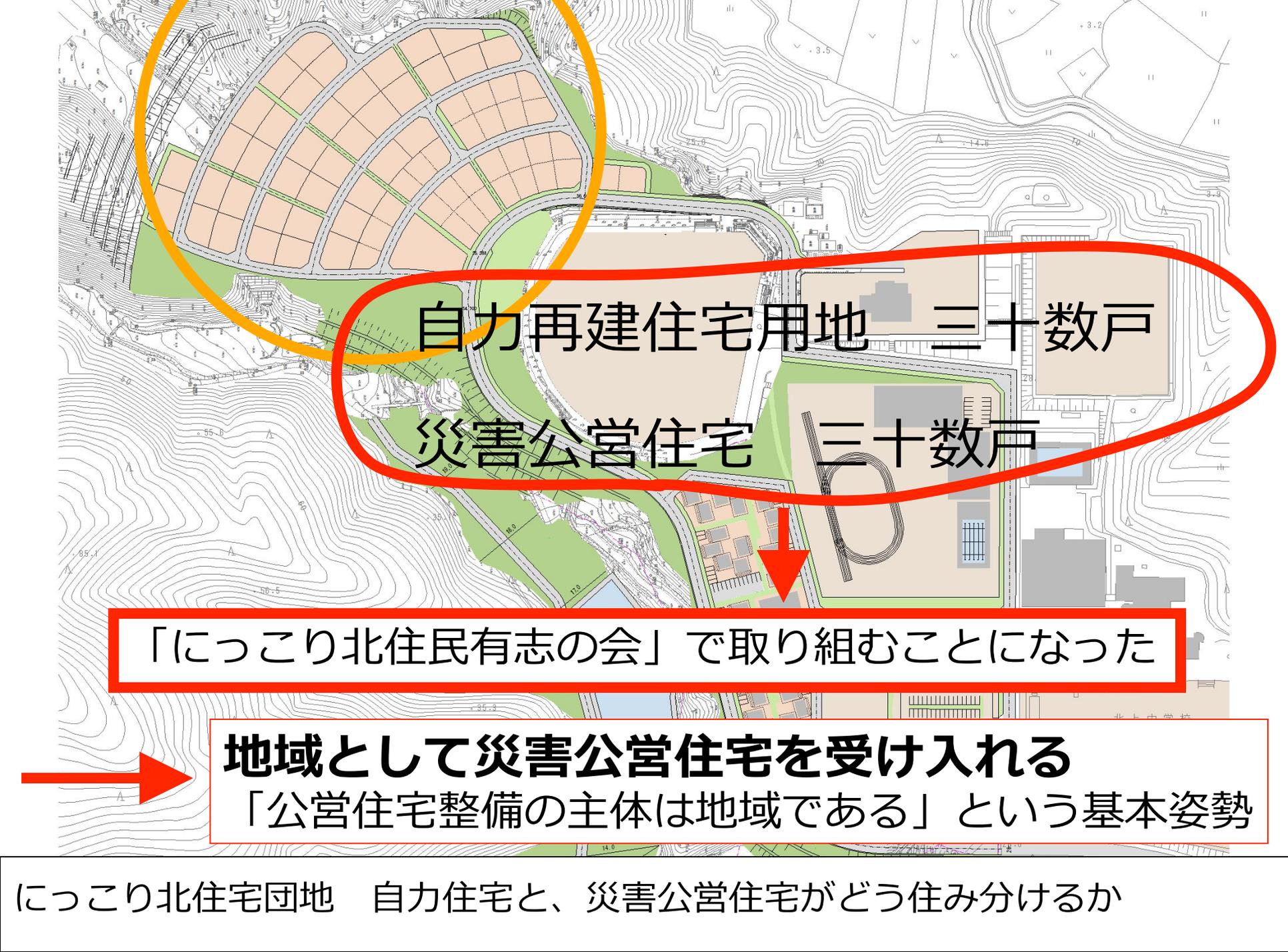
入居希望者 個別ヒアリング結果

10/11に計画変更説明会、
10/28～29、12/12・16にヒアリング調査を実施



- 6割程度の方が長屋タイプへの入居を希望
- 「見守り重視タイプ」に対する期待は大きく、グループ入居への希望など新たなニーズも判明





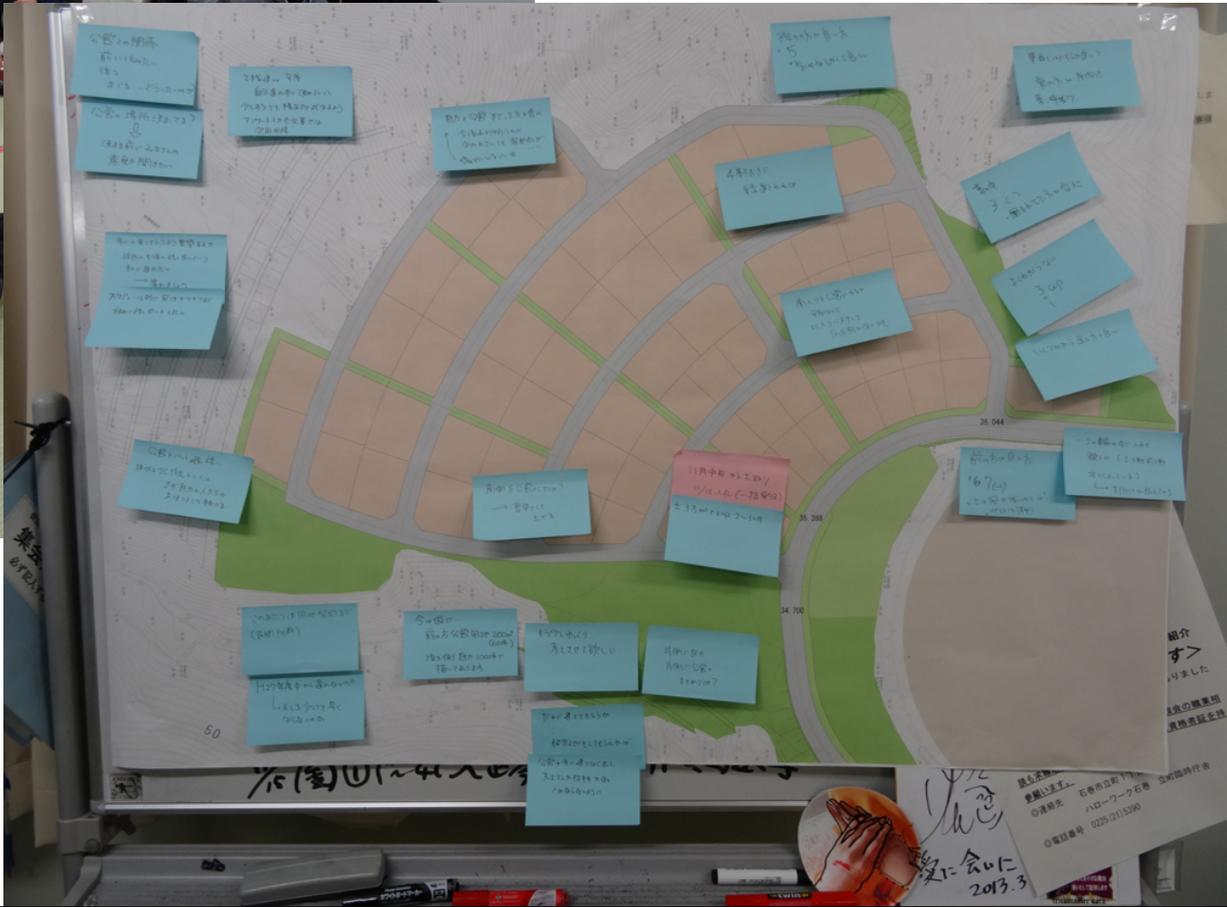
自力再建住宅用地 三十数戸

災害公営住宅 三十数戸

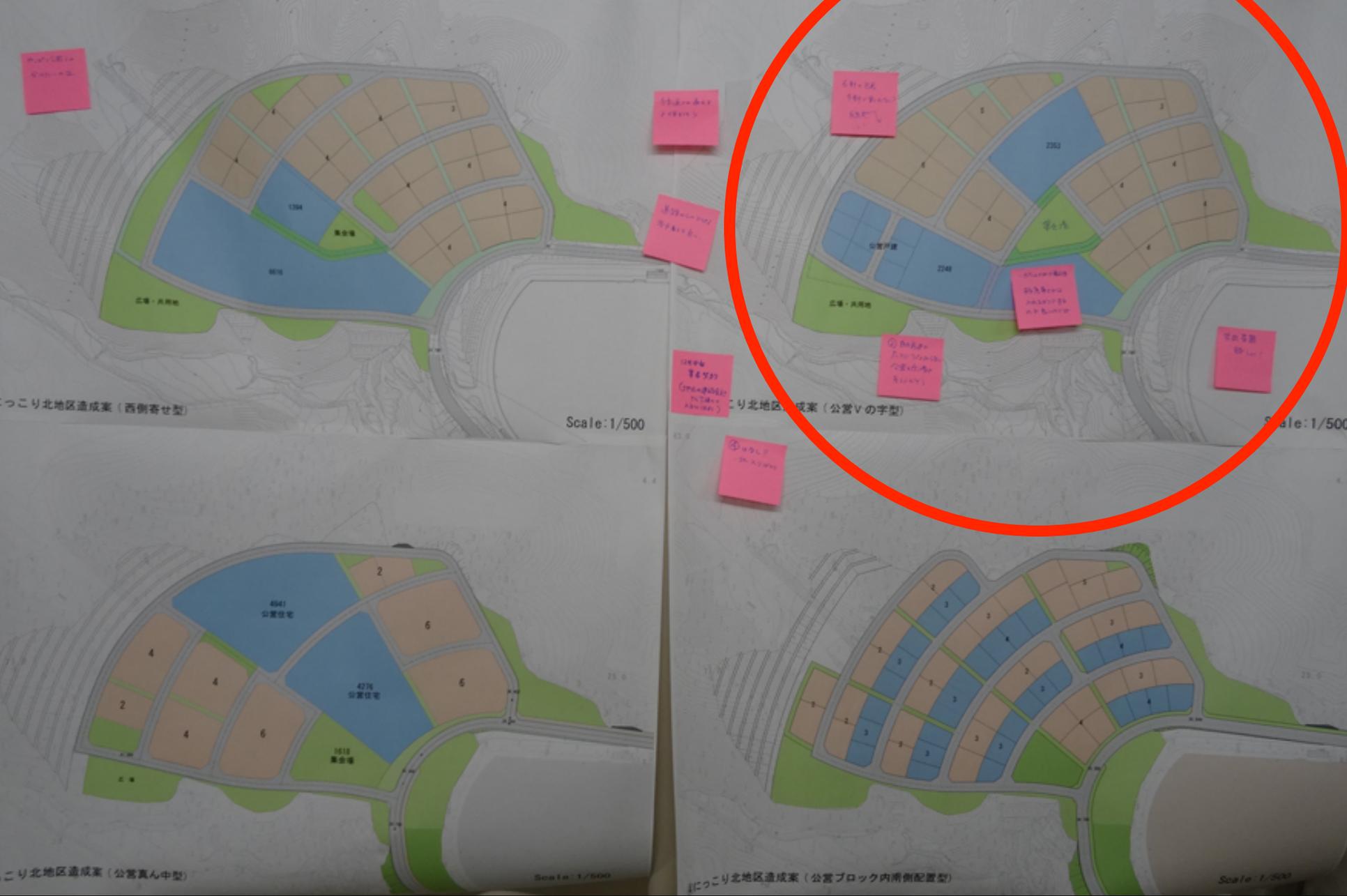
「にっこり北住民有志の会」で取り組むことになった

地域として災害公営住宅を受け入れる
「公営住宅整備の主体は地域である」という基本姿勢

にっこり北住宅団地 自力住宅と、災害公営住宅がどう住み分けるか



にっこり北住宅団地 自力住宅と、災害公営住宅がどう住み分けるか



つつこり北住宅団地 自力住宅と、災害公営住宅がどう住み分けるか

みまもりタイプ	3LDK	0戸	・・・1戸当たり	65坪=214.87㎡
みまもりタイプ	3LDK	0戸	希望不明	
住戸タイプ	間取り	希望世帯数		
戸建タイプ	1LDK	8戸	・・・1戸当たり	59坪=195.04㎡
戸建タイプ	2LDK	11戸	・・・1戸当たり	65坪=214.87㎡
戸建タイプ	3LDK	3戸	・・・1戸当たり	80坪=264.46㎡
戸建タイプ	希望不明	3戸	・・・	仮に2LDKとする

自力再建住宅

北側からまわって南側へ降りる道路

災害公営住宅

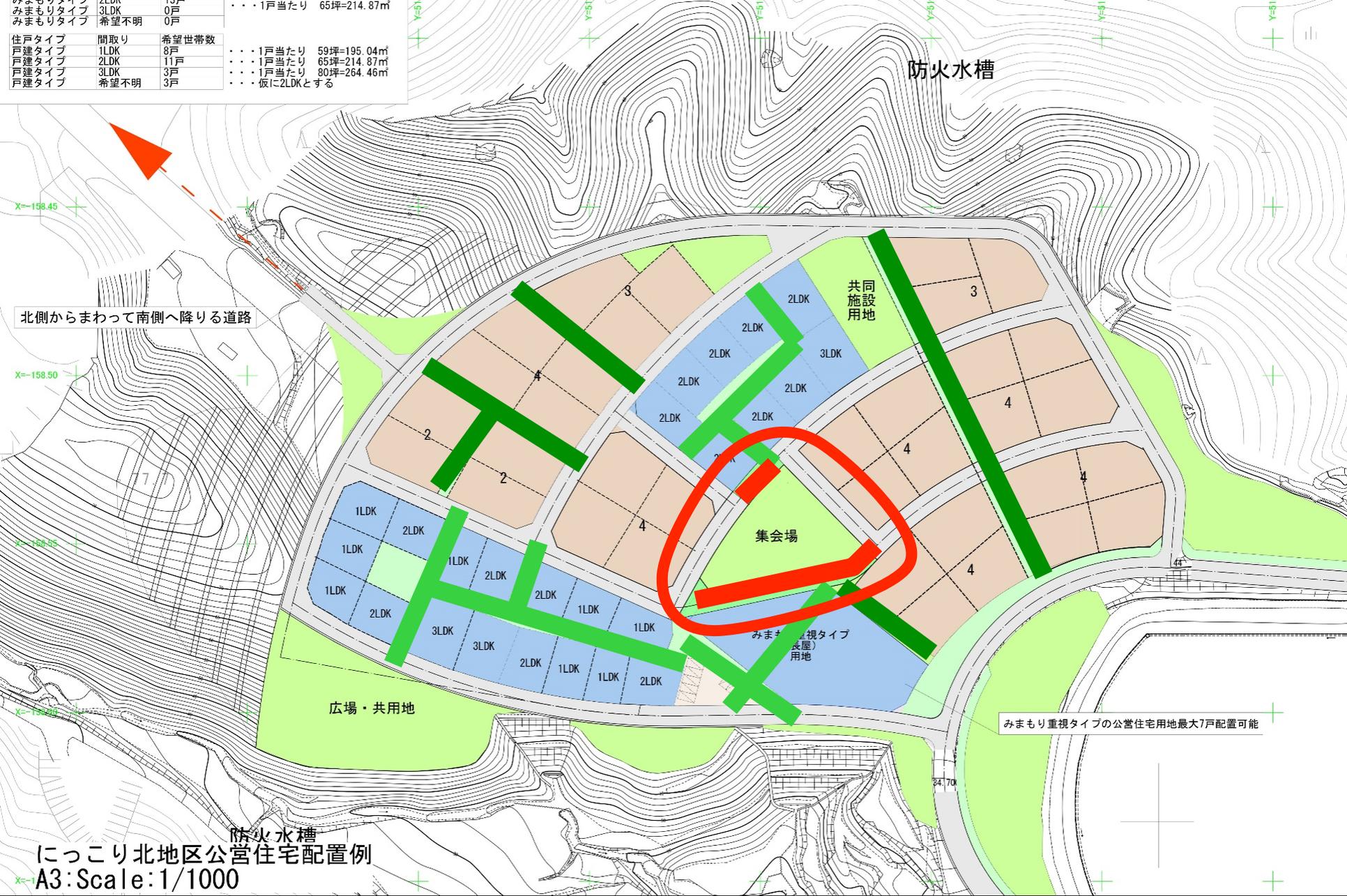
みまもり重視タイプ(長屋)用地
営住宅用地最大7戸配置可能

につ
A3:Scale:1/1000

配置例

にっこり北住宅団地 自力住宅と、災害公営住宅がどう住み分けるか

みまもりタイプ	3LDK	0戸	・・・1戸当たり	65坪=214.87㎡
みまもりタイプ	3LDK	0戸		
みまもりタイプ	希望不明	0戸		
住戸タイプ	間取り	希望世帯数		
戸建タイプ	1LDK	8戸	・・・1戸当たり	59坪=195.04㎡
戸建タイプ	2LDK	11戸	・・・1戸当たり	65坪=214.87㎡
戸建タイプ	3LDK	3戸	・・・1戸当たり	80坪=264.46㎡
戸建タイプ	希望不明	3戸	・・・仮に2LDKとする	



北側からまわって南側へ降りる道路

防火水槽

共同施設用地

集会場

広場・共用地

みまもり重視タイプの公営住宅用地最大7戸配置可能

防火水槽

にっこり北地区公営住宅配置例

A3: Scale: 1/1000

にっこり北住宅団地 自力住宅と、災害公営住宅がどう住み分けるか



分野別分科会としての取組み (2014年夏頃から)

・ にっこり中心部を考える分科会 (分科会長:鈴木昭子)
A working group to study the center

of Nikkori new residential site

→ 公共施設 (総合支所公民分館・こども園・消防署)

を考えることで、北上町の中心部を考える。
To organize the Central area

through arranging the public facilities.

・ 子どもの分科会 (分科会長 武山美佳)

A working group for children

→ 子どもを取り巻く環境を、

総合的に考える。

To study surroundings for children thoroughly

→ にっこり団地の中にこどもの

居場所・あそび場などを考える。

To arrange children's friendly places and play ground



○学童保育は夏休みや冬休みなどの長期休み中もあるため、学校に来ない子どもと遊びたくても遊べないことになりうる。
○学童保育がないと、それが理由で転校してしまう児童もいる。
→児童センターに通いながらも外の子どもと自由に遊べるようなオープンな遊び場がほしい。

○消防署が近いと通報の音まで聞こえてしまうのでは。
→機浦消防署では、民家や保育所から離れてからサイレンを鳴らすよう運用している。近所の方からも音が気になるとの声はなかった。むしろ近くにあると安心の声もある。
→音の問題が解決できるのであれば、消防署用地の位置は現在検討されている場所が構わない。

○支所の停電対応はどうなっている?
→非常用発電機を設置予定。
○IKEAの駐車場のように太陽光パネルを設置してはどうか?
○成人式などの式典は公民館ホールでおこなう。式典などが無いときは自由に使用してもらいたい。
○公民館であれば職員がいて管理できるので、個人でも随時借りて遊んだりできるのではないかと。
○規模は以前の支所の規模でよい。
○使い勝手を良くしてはほしい。
○廊下などの機能は必要だが、必要がでないという事になってしまっているので(前の支所がそうだった)「体育館」的なスペースにしてほしい。
○簡易な給湯室があるとよい。立派過ぎる調理実習室は使えない。
○授乳室やベビーベッドなど、子育ての来客者に配慮した設備が必要ではないかと。
○公民館、学校ともに避難所になる。
○備蓄が重要になる。
○震災時、水は山の沢水を使っていた。
○支所の防災倉庫は食料などではなく土のうなどの復旧活動に必要な備品が収納される予定。
○ひるはの跡を向いている必要は無さそう。

○斜面を活用して「プレイパーク」活動をおこないたい。
○既存の東屋を活用したい。
○多目的グラウンドやプレイパークと高台を安全に行き来できるようにしたい。

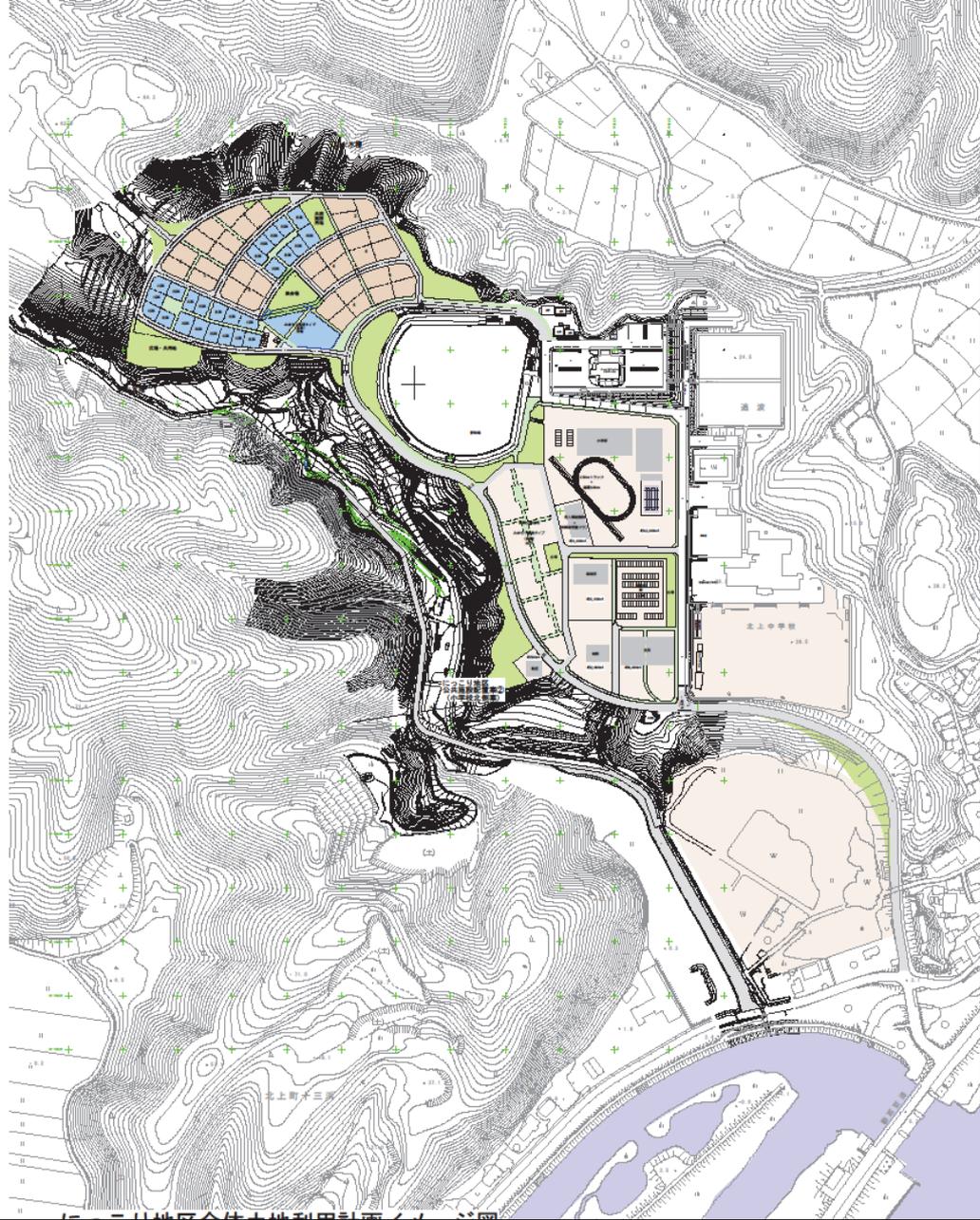


图 3-1 某地区总体规划地形图(部分)

今野照夫

佐藤尚美

北上町を通して思うこと

- 北上町の人たちの強さは、みんなで決め、地域運営が出来ること。契約講など、古くからの共同体の名残だが、行政機能を外部化していない地域の強み。
- 「公共」という概念が地域社会・行政双方にとって障壁となっている。行政は公平性に縛られて自由に考える機会を失い、地域社会は「個と公の間の緩やかな連続」を失い柔軟な地域運営が出来ずにいる。
- 北上町の復興の様々な過程で、地域の女性たちは重要な役割を果たしている。